

「中央アジア＋日本」対話・第10回東京対話

堀井学外務大臣政務官 基調スピーチ

(はじめに)

「中央アジア^{プラス}＋日本」対話・第10回東京対話の開催に当たり、外務省を代表して、中央アジア各国の参加者の皆様を心から歓迎いたします。また、ゲストスピーカーの川口^{よりこ}順子元外務大臣、フレデリック・スター・アメリカ外交政策評議会中央アジア・コーカサス研究所長並びに日本側発表者の皆様、そして会合開催に御協力いただいた関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。

本日はこのように多くの方々にお集まりいただき、主催者として大変うれしく思います。

(東京対話の意義と今次会合の狙い)

我が国は、2004年に、中央アジアの地域協力を促進し、日本がその「触媒」の役割を果たすべく、本日ゲストスピーカーとしてお越しいただいている当時の川口外務大臣のイニシアチブの下、「中央アジア＋日本」対話を立ち上げました。その一環として、公開シンポジウム型の東京対話を実施し、今回10回目となります。今回は、このような四半世紀の節目を迎えた我が国と中央アジア諸国との関係を振り返るとともに、今と未来を展望し、今後の一層の友好協力関係を高めていきたいと思っております。

(我が国の中央アジア外交)

我が国の中央アジア外交は大きな節目を迎えています。

本年、日本と中央アジア諸国との外交関係は25周年を迎えました。その間、我が国は、中央アジアの「開かれ、安定し、自立的な発展」を支え、地域の平和と安定に寄与することを基本方針とし、①二国間関係の抜本的強化、②「中央アジア+日本」対話を通じた地域共通の課題への関与、③グローバルな舞台での一層の協力、を三本柱として、中央アジア外交を推進してきました。

そのような中、一昨年、安倍総理が日本の総理大臣として初めて中央アジア5カ国を歴訪し、日本と中央アジア各国との関係は新たな次元に引き上げられました。その後、総理訪問の際に達成された様々な合意事項のフォローアップが各方面で活発に行われています。

本年5月には、トルクメニスタンで「中央アジア+日本」対話・第6回外相会合が成功裏に開催され、共同声明が採択されました。また、本年、タジキスタンが「中央アジア+日本」対話の議長国に就任し、これで中央アジアと日本の6カ国すべてが議長国を務めたこととなります。

その他にも、政治・経済・文化・スポーツ・教育といった様々な分野での交流も活発に行われています。

我が国として、今後とも、先に述べた基本方針を堅持しつつ、中央アジア外交を積極的に進めていく考えです。

(東京対話サイドイベントの紹介)

昨年の東京対話では、日本における中央アジアの認知度を抜本的に高めることを目的として、映画祭、音楽祭、駐日大使館訪問等のサイドイベントも実施しました。

本年も、一人でも多くの方々に中央アジアに関心を持っていただけるように、各種サイドイベントを企画いたしました。

まず、先日、外務省で、中央アジアを舞台にした森薫^{もりかおる}さんの漫画作品「乙嫁語り」^{おとよめ がた}の原画展を開催しました。

また、中央アジアの代表的な料理を御家庭で手軽に作れるよう、レシピ動画を作成してユーチューブの外務省チャンネルで配信しています。

さらに、森薫さんに全7話の書き下ろし漫画「中央アジアクッキング」を制作いただきました。こちら外務省ホームページに順次掲載していきます。

いずれも初めての試みですが、漫画や料理という切り口からも、より多くの方々に中央アジアの魅力に触れていただけたらと思います。

この場をお借りして、企画の趣旨に御賛同いただいた多くの関係者の皆様の御支援と御協力に改めて御礼申し上げます。

本日の公開シンポジウムの後のレセプションでは、中央アジア料理も御用意しています。サイドイベントとして作成したレシピ動画を参考に皆様の御家庭などでもお試しいただき、お気に召されましたら、御家族や御友人など身近な方々にも御紹介いただければと思います。料理を通じて、皆様方に中央アジアの文化の一端に触れていただき、現地の味をお楽しみいただけるきっかけとなれば幸いです。

(結語)

本日の会合を含む一連のイベントを通じ、一人でも多くの日本人にとって、中央アジアがより親しみのある身近な存在となることを願っております。

外交関係25周年を迎えた我が国と中央アジア各国との関係が、次の四半世紀もますますダイナミックに発展していくことを祈念しつつ、私からの御挨拶とさせていただきます。

御静聴ありがとうございました。